

せいしょ じだい まち まち 聖書時代の町：ウルの町

せいしょ そうせい き で 出てくる ウルは、ユーフラテス川の 河口近くに 位置していた
古代メソポタミアの 都市で、現代の イラクに ありました。ウルの ジググラト¹
遺跡は、今でも 見ることができます。

ウル の 町は、聖書時代の 父祖アブラム（アブラム）の 生まれ故郷で、
アブラムは カナン² の 地に 移り住むために、ウルの 町を 出ました。
(アブラムは、ヘブライ人の 祖先です。)

「テラは、アブラム³、ナホル、ハランの 父親で、ハランは ロトの 父親でした。
ハランは、父親のテラに 先立って、その 生まれた 地、カルデヤの ウルで 死にました。

アブラムは サライ⁴と 結婚しましたが、長い間、子供が できませんでした。

テラは、息子アブラムと、義理の娘サライと、孫の ロトを 連れて、カナンの 地へ
行こうと カルデヤの ウルを 出しましたが、途中の ハラン⁵まで 行って、そこに
住み着きました。」⁶

きゃくちゅう
脚注

1 ジググラトは、数階層から 成る 四角錐の 塔。

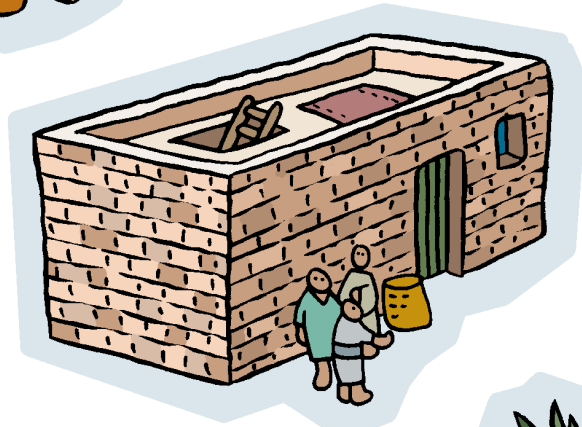
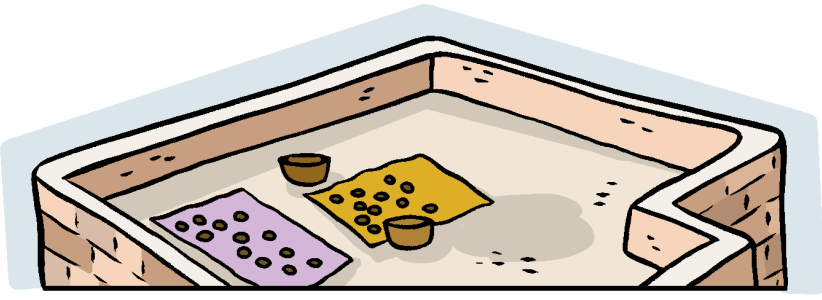
2 旧約聖書時代の カナンの 地には、現代の レバノン、シリア、ヨルダン、それに イスラエルが
含まれる。

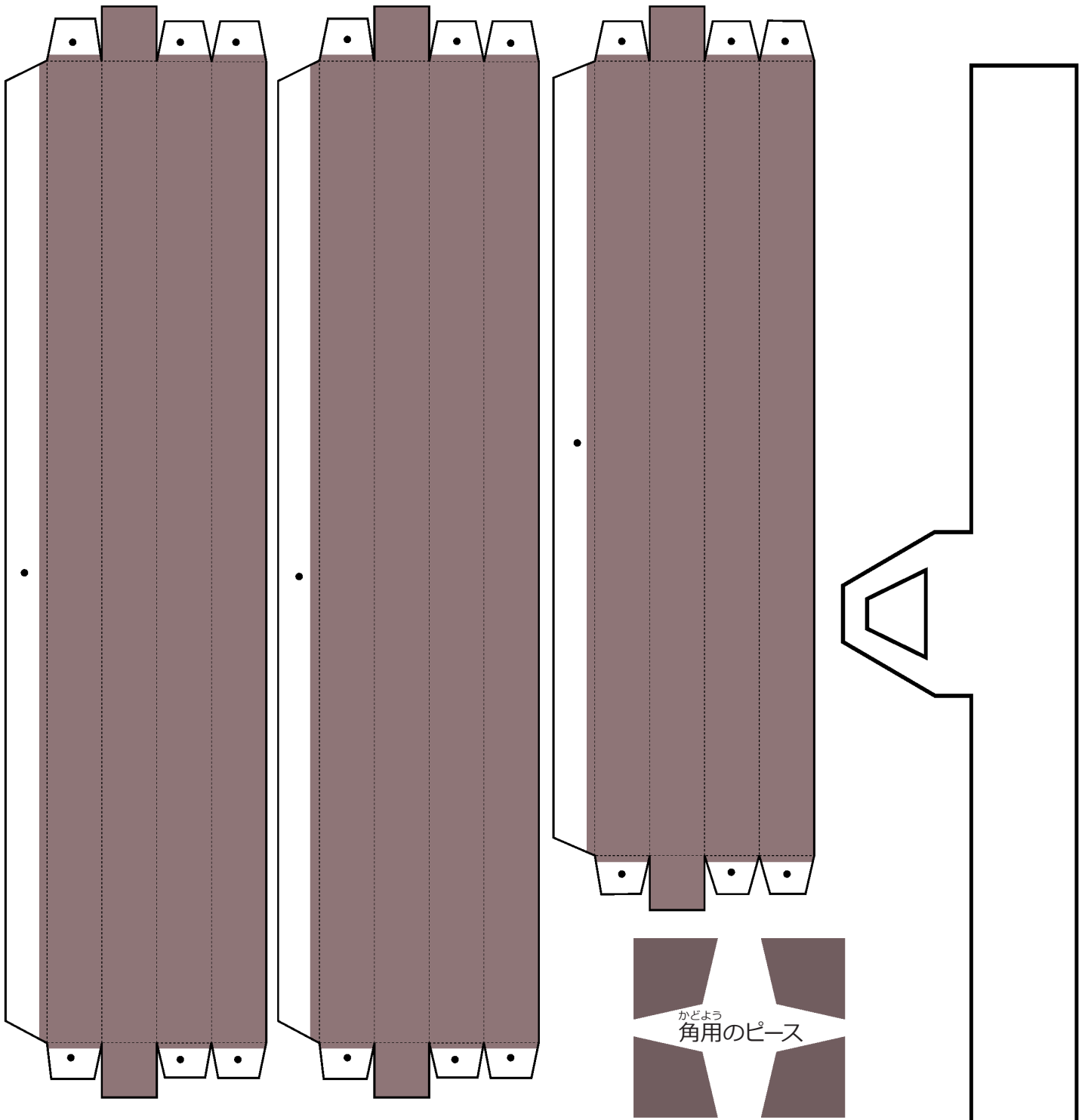
3 アブラムは 最初、アブラムという 名前だった。

4 サライは 最初、サライという 名前だった。

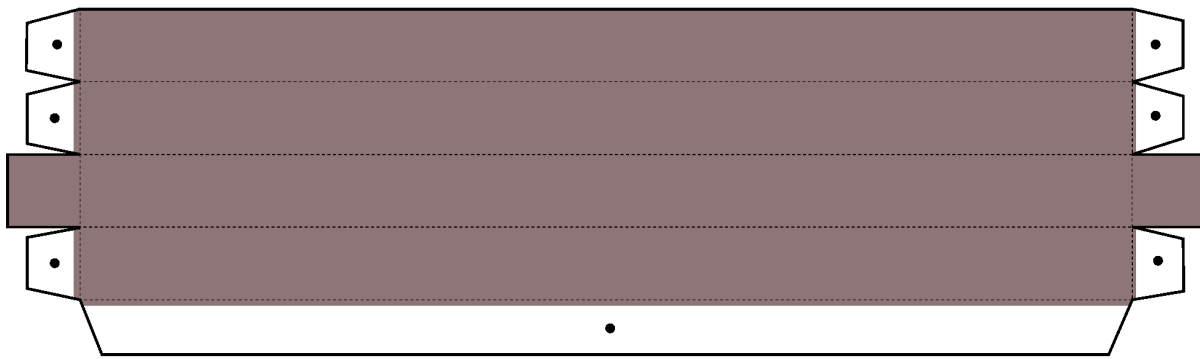
5 ハラン遺跡は、現代の トルコに あります。

6 創世記 第11章27-31節を 参照。



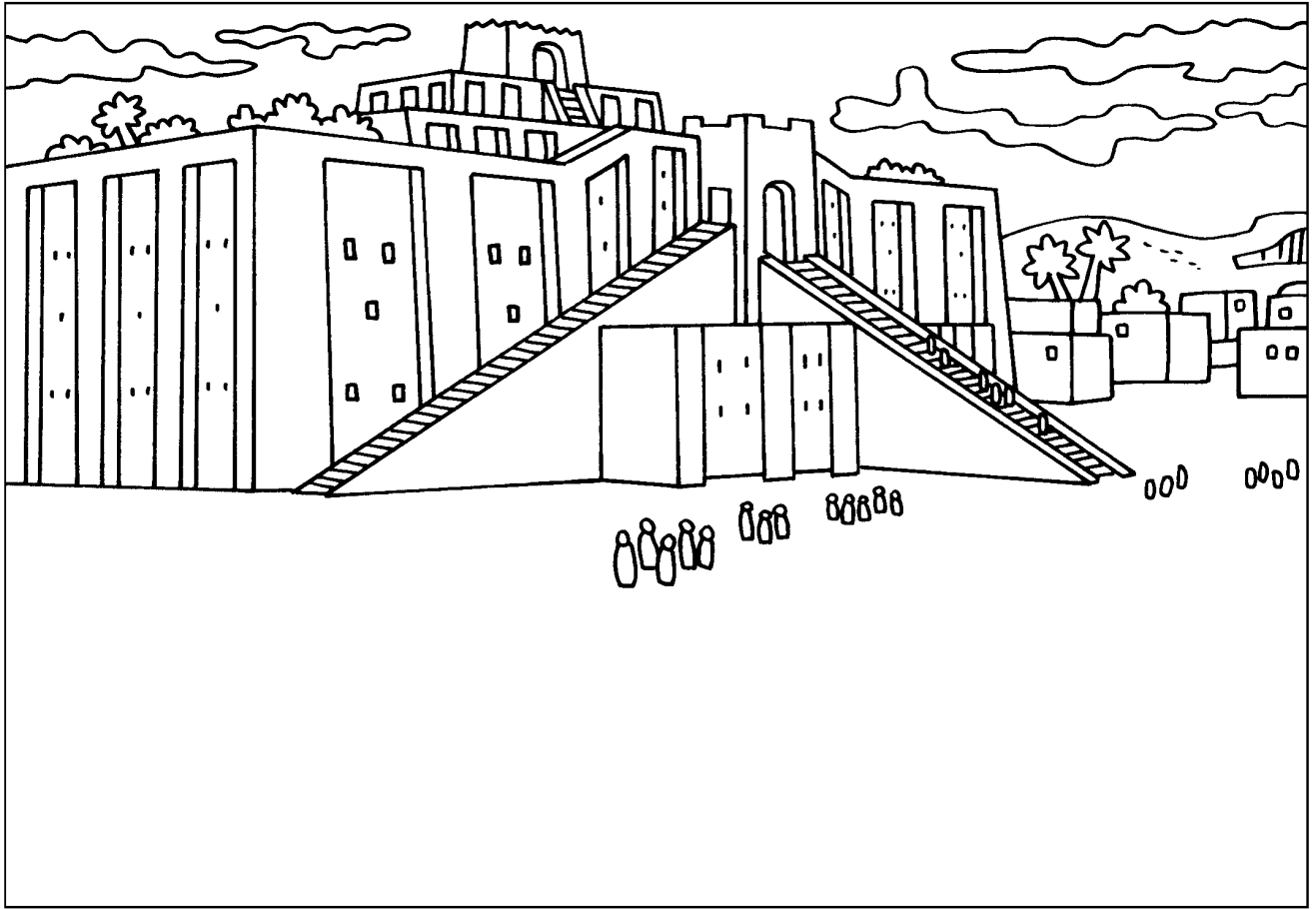


かどよう
角用のピース



よう
フレーム用のピース

うらがわ
フレームの裏側
には
貼
り
付
け
る
ピ
ー
ス
(シャドーボックスの
つ
く
か
た
作
り
方
は
こ
ち
ら)



せいしょじだい まち まち 聖書時代の町：ウルの町

せいしょ そうせい き で くる ウルは、ユーフラテス川の 河口近くに 位置していた
古代メソポタミアの 都市で、現代の イラクにありました。ウルの ジググラト¹
遺跡は、今でも 見ることができます。

ウルの 町は、聖書時代の 父祖アブラム（アブラム）の 生まれ故郷で、
アブラムは カナン²の 地に 移り住むために、ウルの 町を 出ました。
(アブラムは、ヘブライ人の 祖先です。)

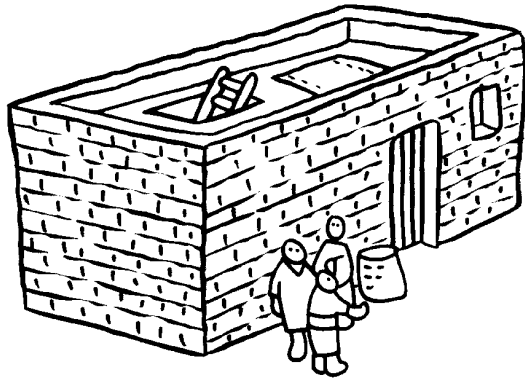
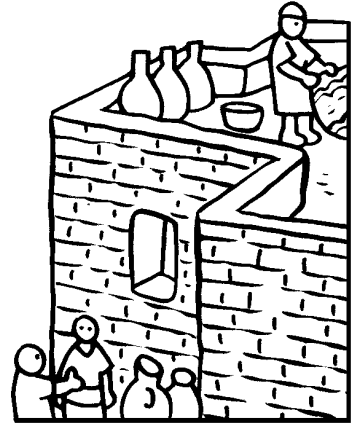
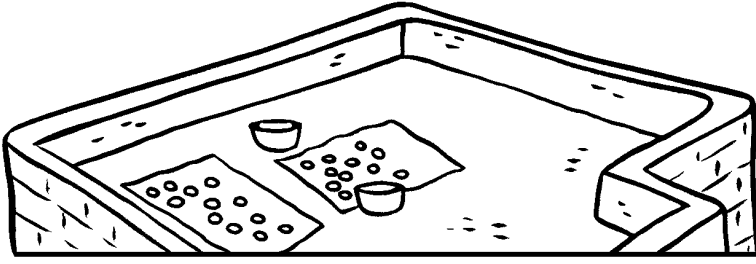
「テラは、アブラム³、ナホル、ハランの 父親で、ハランは ロトの 父親でした。
ハランは、父親のテラに 先立って、その 生まれた 地、カルデアのウルで 死にました。

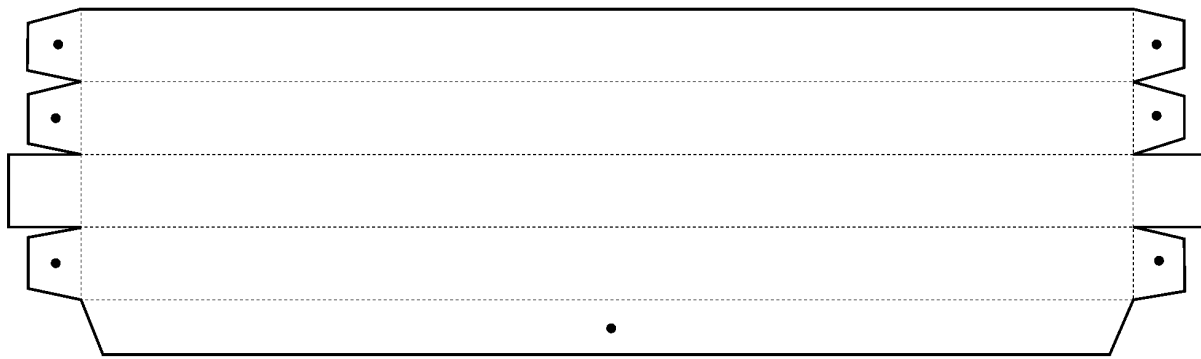
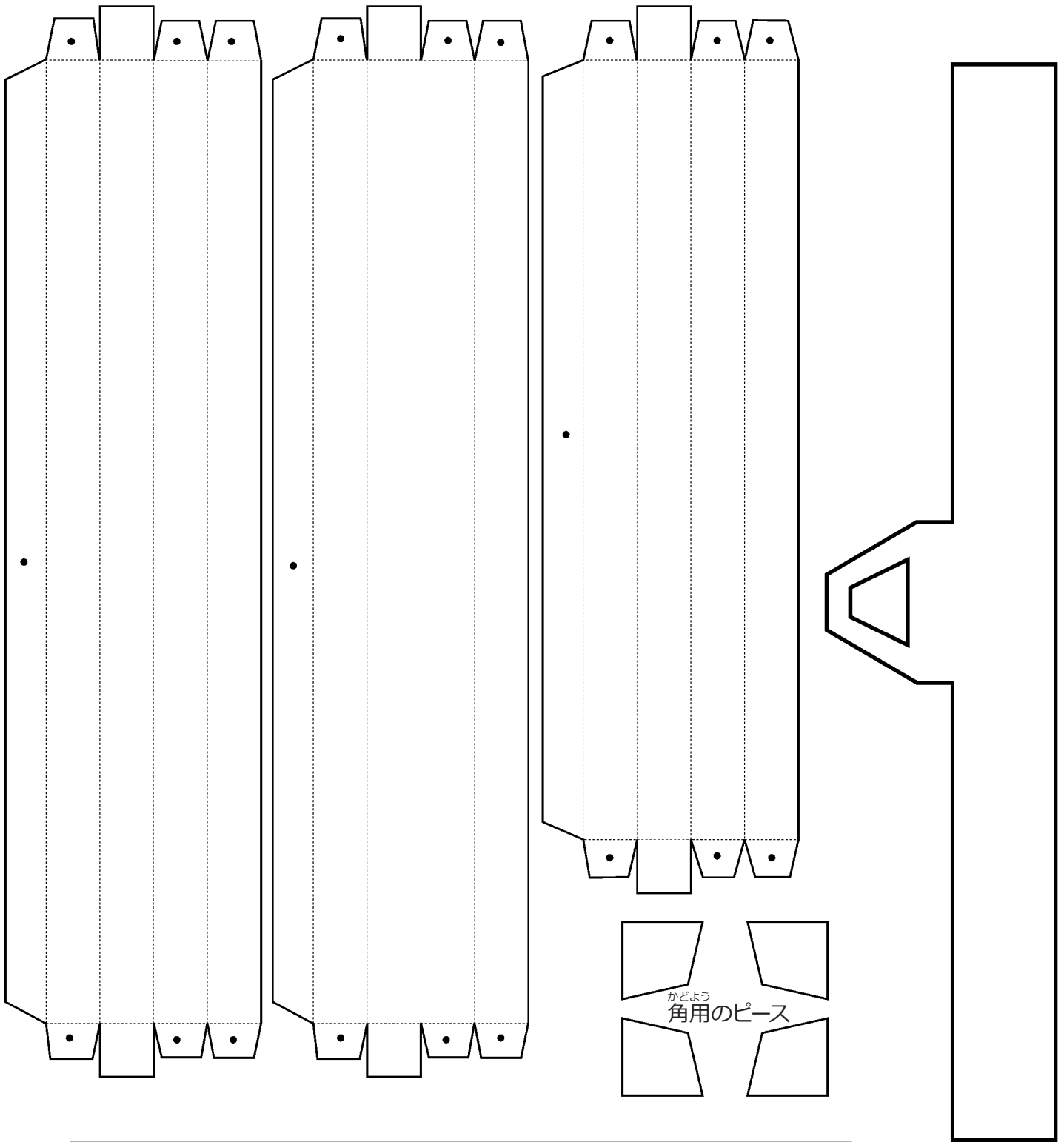
アブラムは サライ⁴と 結婚しましたが、長い間、子供が できませんでした。

テラは、息子アブラムと、義理の娘サライと、孫のロトを 連れて、カナンの 地へ
行こうと カルデアのウルを 出しましたが、途中の ハラン⁵まで 行って、そこに
住み着きました。」⁶

きゃくちゅう 脚注

- 1 ジググラトは、数階層から 成る 四角錐の 塔。
- 2 旧約聖書時代の カナンの 地には、現代の レバノン、シリア、ヨルダン、それに イスラエルが 含まれる。
- 3 アブラムは 最初、アブラムという 名前だった。
- 4 サライは 最初、サライという 名前だった。
- 5 ハラン遺跡は、現代の トルコに あります。
- 6 創世記 第11章27-31節を 参照。





フレーム用のピース

フレームの裏側には
貼り付けるピース
(シャドーボックスの
作り方はこちら)